

# テレジン展

## いのちのこどもとおとな

・・・ナチスの収容所で子どもたちは4000枚の絵を残した・・・  
30点以上のパネル展示

九州大学中央図書館  
新館4F会議室

8月5日(金) 13:00～17:00

8月6日(土) 10:00～17:00

8月7日(日) 10:00～15:00



アリーチェ・シッティゴヴァー  
1930. 4. 19生まれ 1944. 5. 18アウシュヴィッツへ  
提供/野村路子・埼玉県平和資料館

1941年チェコの美しい町「テレジン」は  
アウシュヴィッツ強制収容所の中継地になりました。  
親と離され、労働力として家畜のように扱われた  
子どもは15000人。  
生き残ったのは100人だけでした。

ドイツ降伏の1945年5月8日、  
テレジン収容所に  
4000枚の絵と30篇の詩が残されました。

いのちをかけたおとなたちによって、  
子どもたちは「人間らしく生きる」ことができました。

HP：<http://soyoginokai.web.fc2.com/terezin/terezin-top.html>  
(そよぎの会HP内テレジン特設サイト)

問い合わせ先：テレジン展in九大実行委員会事務局  
e-mail：otazune@npo-will.net phone：090-7474-4463 (あいと) 090-1086-4150 (きのほら)

主催：テレジン展in九大実行委員会 (そよぎの会、九州大学社会教育研究室、特定非営利活動法人子育て市民活動サポートWill)  
協力：テレジンを語りつぐ会、埼玉県平和資料館

Designed by Hiroko Mine

<入場無料>

こどもたちに あいに来てくださーい

こどもたちの絵と詩を

見に来てくださーい

こどもたちの「いのち」の声を

聴いてくださーい